自己評価の結果について 令和6年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己肯定の精神を育む。 幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、 探索し、思考する過程を大切にした教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が 展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた 直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮 した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・ 自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を 育てる。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標 	取組み状況
1 保育の計画性	・ 保育カリキュラムは、カトリックの教えを基に教
保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導	育目標を立て作成している。
計画を策定し、教育内容の充実を図る。	・ モンテッソーリ教育を取り入れ、園児が主体的に
	活動に取り組んでいけるように環境を構成してい
	る。
	・ 3~5 歳の異年齢縦割りクラスでお互いに尊重し、
	思いやりの心が育っていけるよう環境を構成して
	いる。年長児は下の子への優しい気持ちが育ち、
	年中少児は次年度への憧れに繋がっている。
	・ オーケストラ、人形劇を鑑賞する機会を作り、園
	児の感性を豊かにすることにつなげてきた。
	・ カレーパーティーでは、年長児が野菜を切り、当
	日保護者にお手伝いを集い協力していただきなが
	ら行っている。また園の畑の野菜を使い、異年齢
	児全員で一緒に食事をし、食育につなげている。
	・ 3月に行われる年長児のお別れ会では、コロナ禍で
	中止していた全園児がホールに集まり食事を行
	い、縦割り保育の中で育まれている異年齢や他ク
	ラスとの交流の場になるようにつなげていく。

2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支 援その他の充実を図る。

- ・ 園児の健康的な生活を守るため、常に園医と連絡 をとり指導をうけている。
- ・ 園児が安定した気持ちで過ごせるよう一人ひとり に愛情深く丁寧に関わるように努めている。
- ・ 日々の打ち合わせで子どもの情報を共有している。ヒヤリハット報告書を作成、活用することで、子ども達の事故や怪我を防ぐとともに、教職員間で共有している。
- ・ 運動会や参観日等の保護者参加の行事は、人数制限をしないで行い、たくさんの保護者に子ども達の様子を実際に見ていただくことができた。
- ・ 4月より子育で支援の一環として2歳児クラスを開設した。保護者のニーズに応えるとともに、園児が入園後スムーズに園生活に移行できるように努めてきた。一人ひとりのペースに合わせ、丁寧に対応し基本的生活習慣を身につけていけるように見守り援助している。また親子登園日を設定し、園外保育や製作活動、ふれあい遊びなど親子での関わりを持てる機会を作り、親子支援を行ってきた。また低年齢児から遊べる大型遊具を購入し、園庭で安全に遊べるよう設置した。

3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質 向上を図る。

- ・ 園児の性格や個性を把握し、日々の成長に喜びを 感じ、良き保育者として成長できるように努力す る。
- ・ 園児のことやクラスの出来事等で必要なことや問題点などは報告や連絡を行う。また、教職員全員で一つのチームであることを自覚し、自分の役割に責任を持って行動する。
- ・ カトリック幼稚園の教職員として、保育時間外で も保育者としての誇りと自覚をもった言動を心が ける。

4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対 応を図る。

- ・ 毎月発行する園だよりや年3回の学年ごとの懇談会 に加え全体の保護会を行い、子ども達の様子や園 の考えを保護者に分かりやすく伝えて信頼関係を 築いていくように心がけた。
- ・ 園への要望など保護者のニーズには丁寧に耳を傾け、園の教育方針や事情を理解していただきながら検討し、対応している。
- ・ 年4回クラスだよりを発行し、写真などでクラスの 様子を知ってもらい、園生活の様子を伝えてい る。
- ホームページのブログやインスタグラムで園生活 の様子を保護者に伝えている。
- ・ 登降園アプリの『コドモン』を利用して、保護者 の連絡を受け対応してきた。お弁当 DAY の前日のお 知らせ等保護者への連絡をアプリから行い、周知 するようにしてきた。

また保護者会出欠の集計等アンケート機能を使い保護者の意向を確認できるようにしてきた。

5 地域社会との連携

地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。

- ・ 伏古公園や美香保公園など近隣の公園に行き、園庭とは異なる遊具でダイナミックに遊ぶことができた。夏には大通公園での水遊びや、冬には美香保公園での雪遊び等、季節に合わせた遊びも楽しむことができた。円山動物園やいちご狩り、りんご狩り、青少年科学館に行く等、園外保育を楽しむことができた。
- ・ 年間を通して8回の園開放を行い、地域の未就園児 親子が遊ぶことができるように設定した。
- ・ 未就園児クラス『おひさまクラブ』では1歳3か月から参加でき、低年齢からの子育て支援に努めている。参加人数が増えてくると2グループに分けて、活動を十分に楽しめるように努めた。
- ・ 東区幼保小連携推進協議会議に参加し、小学校との 幼小連携を進めていくための話し合いを行った。保 護者の承諾を得た上で必要な児童の情報を小学校に 伝え引継ぎ、円滑な幼小連携に努めてきた。
- ・ 近隣の小学校へ実際に行き、学習発表会の練習の見 学、製作活動や、高学年と学校グラウンドで鬼ごっ こをするなど交流を深めた。また小学生が幼稚園に 訪れ、ゲームや製作など小学生に教えてもらい一緒 に楽しむなど、幼小連携を深め行うことができた。
- 東区交通安全運動推進委員会の方に来ていただき、 交通ルールの大切さを学んだ。
- ・ 東区警察署の方に来ていただき、信号の安全な渡り 方等実際に体験しながら、交通安全について学ん だ。また札幌市からの依頼で、高齢ドライバーの交 通事故を防ぐため、交通事故防止啓発品(孫の写真 入りキーホルダー)を家庭にも協力していただき作 成し、祖父母の方に渡していただけるようにお願い した。
- ・ 年長児は札幌市の雪体験教室に参加し、雪国ならで はの文化を学んだ。

6 研修と研究

研修・研究を積極的に行い、専門性を高める 努力をする。

- ・ モンテッソーリ教師養成コースで勉強し、理論や実技を学んでいる。長期休みにはモンテッソーリ教育の園内研修を行っている。またモンテッソーリ教育活動『TUDOIの会』に入会し、講演会やZOOMでの研修会等に参加しモンテッソーリ教育の専門性を高められるように勉強した。
- ・ 北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、札私幼研 究大会の全体講演会や、札幌市幼稚園教諭研修、特 別支援研修、東区幼稚園研修、旭川カトリック学園 研修、リーダー研修会などにもオンラインや対面で 参加した。
- ・ 教育保育施設における誤嚥事故防止にかかる全体研修会に参加し、内容を全職員に把握し、食事の際誤 嚥事故につながらないよう徹底している。

7 情報公開

保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個 人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り ・ 一年を振り返って各保育者は自己評価を行った。 結果は年度末のクラス代表の保護者で構成される 役員会で伝え、学校関係者評価をもらい、ホーム ページで公開する。

等で情報公開する努力をする。		

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・ 学校評価の主旨や取り組むべき課題について自己点検を行い、園の教育目標や保育計画について、日々の保育を振り返って見直すことができた。
- ・ 教職員全員でチームとして、よく話し合い、幼児理解・環境構成・指導計画の改善につな げていくようにする。今後も保護者に丁寧に教育方針や子供の成長について伝えていき、 信頼関係を築き、様々な専門家との連携をとり、学びを深めていく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法	
安全管理	 防犯対策として、園児・保護者・教職員にとって安全な環境であるために玄関電気施錠を行い外部からの侵入者を防いでいる。 セコム防犯システムに加入し、外部からの侵入者を防ぎ、玄関や各部屋からの侵入の対策を行う。園児や保護者、教職員が安心して園生活を行えるように設置している。 ・緊急時に備え、園内にAEDを設置している。 ・消防法を踏まえて施設設備の安全管理に努め、年3回の避難訓練(火事・地震)を行った。また、災害時のため、全園児分のアルミブランケット・保存用ビスケット・飲料水を備蓄している。また防犯対策の備蓄などを再確認し、必要なものを再度購入するなど緊急時に備えている。 ・年度初めにバス訓練を行い、バスのクラクションと SOS ボタンの使い方などを園児に周知し、バスの置き去り防止に備え非常時に対応できるようにしている。また、バス乗車のマニュアルを全職員で把握し防止に努めている。 ・毎朝担任が登園打刻を確認し、出欠確認を行い、その後クラスの当番が出欠を園長に報告し、園長が出欠ボードと照らし 	
	合わせるなど園児の出欠の把握を徹底している。活動の中で も人数を点呼し、降園後も園児が退出しているかを確認する	
	など安全に努めている。 ・ 園児の命を守ることを最優先に考え、文部科学省・教育委員会からの指導、状況把握や情報収集などを基に感染拡大防止対策を実行していく。感染症の園児がいた場合は、登降園システム『コドモン』で保護者にお知らせしている。	
	・ 登降園システム『コドモン』を導入しており、保護者に迅速 に連絡が取れるようにしている。 また登降園を QR コードで打刻し、園児の出欠をしっかり把握 し、登降園の管理を行っている。 今後もコドモンのシステムを活用しながら、アンケートや資	

特別支援教育	料室など保護者との連携をとっていく。 また、コドモンのバス位置情報でバスの運行情報を伝え、保護者の待ち時間などの負担を軽減している。 ・ 特別な支援を要する園児や、発達に気になることがある園児に対しては、保護者と子どものことへの理解を深め話し合い、東区幼児教育支援員、各関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、援助している。今後も教職員でも援助につ
	いて具体的にケースワーク会議を行い、協力して体制を整えていく。また、発達と学びの連続性を確保するため小学校との連携を密接にしていく。 ・特別支援教育に関する研修を受け、日常的な保育の場面で活かせるように努めていく。
園に対する保護者の満足度の把握	 ・保護者の声にしっかりと丁寧に向き合い、迅速に対応することを心がけている。 ・保護者会では園の教育方針や行事などについて丁寧に伝えていくように努めている。役員会では役員の保護者からも園の活動等の意見などをいただいてきた。役員会の内容等を議事録として『コドモン』の資料室に掲示することで、園の教育方針などを全園児の保護者に伝えるように努めてきた。今後も『コドモン』でのお知らせや紙面などを利用しながら情報提供していく。またバス通園の園児が増えていることもあり、普段の子ども達の様子を伝えきれないため、ホームページやインスタグラムなど発信しながら子どもの成長を伝えていく。 ・行事など保護者が園に来た際に、保育者が保護者に園の活動の様子を伝え、保護者からは家庭の様子を聞くなどコミュニケーションをとれるように努めている。 ・保護者に「夏休み・冬休みの様子」を書いてもらい、子どもの家庭での様子や日々の成長、保護者の思いを理解し、保育者が休み明けの子どもとの会話など関わりに活用している。また、例年通り卒園児・在園児にアンケートを実施していき、保護者のニーズを知り、今後のより良い園づくりにつなげていく。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を いただきました。

1. 保育の計画性

- ・モンテッソーリ教育のおかげで、子供3人幼稚園にお世話になりましたかが、3人とも『使ったものをしまってから次の遊びたいものを出す』が身についている。末っ子は下の子のお世話をする習慣がないので、縦割りクラスによってお世話をしてあげたいという気持ちが出てくるので良いと思う。
- ・園児が様々な体験ができるよう情報を収集し、外部の業者に来てもらうなど工夫してくださっている。利用する業者の中には園児の対応が芳しくないと思われる業者があった。(ノースサファリ)天使幼稚園の精神に沿った業者であるか、十分検討した上で利用してほしい。
- ・縦割り保育は異年齢の子供たちと交流し成長できる良い機会だと思う。子どもたちのストレスにならない程度に取り組み指導をお願いしたい。

2. 保育の在り方及び対応

- ・園医と連絡をとり指導を受け、対応してくださるので安心できる。
- ・園児の話をよく聞き、一人ひとりに向き合い関わってくれているので、子供も先生を信頼し 安心して過ごせていると思う。
- ・日々、打ち合わせやヒヤリハット報告書を作成、共有することで教職員の方々皆さんで事故 やけがの防止に努めてくれていると思う。
- 人数制限なしで保護者が参加できるのはうれしい。
- ・2歳児クラスとても良いと思います。保護者にとっては子育ての支援になり、園児自身も小さいうちから通うことで幼稚園に慣れることもできる。
- ・子供2人天使幼稚園に通わせていただき、本当に天使幼稚園で良かったと思います。
- ・園で起こった子供たちの事故、怪我等の報告は教職員間のみならず、双方の保護者にも共有していただきたいです。2歳児クラス開設は入園前にシミュレーションができて、プレよりも在園児と交流する機会が多くとても良いです。

3. 保育者としての資質

- ・子供の悩みを園に相談すると教職員全員で共有し、保育中は親身になって見守ってくれる。
- ・子供に不安がある時は、保育中のクラスの出来事や様子を詳細に教えてくれる。保護者への 報告や連絡が滞りなくされている。
- ・子供の性格で意外な部分なども細かく気付いてくれて、常に寄り添い対応してくれている。
- ・組や担任にかかわらず、どの先生方も満遍なく子供たちに目を配り、気を配っている様子が 見てとれるので、安心して預けることができる。
- ・HPやインスタグラムで子供たちの様子を伝えてもらえるのが本当にありがたいです。これからも楽しみにしています。

4. 保護者への対応

- ・写真などがたくさん入った園だよりや、ブログ・インスタグラムを通して園での生活を知ることができ、保護者の皆さんも楽しみに見ているので、素敵な取り組みだと思います。また、保護者会や面談などで直接、先生方とお話しする機会で、より詳しくお話が聞ける点もとても良い点だと思います。先生方がいつも温かく優しい笑顔で子供たちと接しており、一人ひとりの子供達を愛情深く保育してくださっているのを感じます。本当にいつもありがとうございます。
- ・お迎えのときに先生に会うと、園での様子を教えてくださり安心しています。クラスだより はカラー写真付きでどんなことをしているのかよく分かるので、発行をいつも楽しみにして います。(月1だと嬉しい)
- ・コドモンで「今日はお弁当の日です。」などお知らせが届くのはとてもありがたいです。(メ モしていても忘れてしまっていることもあるため)
- ・水曜日のコーナーあそびの日など、『今日の活動』のかんじでコドモンで写真が届くサービスがあればもっとうれしいです。

5. 地域社会との連携

- ・伏古公園や美香保公園など近隣の公園に行き、園庭とは異なる遊具で遊ぶことができた。円山動物園やいちご狩り、りんご狩り、青少年科学館に行く等園外保育を楽しむことができた。
- 年間を通して8回の園開放を行い、地域の未就園親子が遊ぶことができるように設定した。
- ・未就園児クラス「おひさまクラブ」では、1 歳 3 か月から参加でき、低年齢からの子育て支援に努めている。
- ・本年度4月より子育て支援の一環として2歳児クラスを開設し、小さいうちから集団生活に 慣れ、園生活を行えるように保護者のニーズに応えている。
- ・東区幼保連携推進協議会議に参加し、小学校との幼小連携を進めていくための話し合いを行った。保護者の承諾を得た上で必要な児童の情報を小学校に伝え継ぎ、円滑な幼小連携に努めてきた。

- ・東区警察署の方に来ていただき、信号の安全な渡り方など、実際に体験しながら交通安全について学んだ。
- ・東区交通安全運動推進委員会の方に来ていただき、交通ルールの大切さについて学んだ。
- ・年長児には札幌市の雪体験教室に参加し、雪国ならではの文化を学んだ。
- ・年齢や四季に合わせて、様々な公園や施設に連れて行ってくださり、園外保育をたくさん楽しむことができ、子供たちも大喜びでした。
- ・未就園児クラス・園開放は低年齢から参加でき、親の交流の場にもなり先生方にも相談でき たり、一緒に成長を見守ってくれる、とても貴重な場になっていると思います。
- ・幼小連携は特に年長児にとって、小学校への不安をぬぐい、期待を高められるいい機会になっていると思います。
- ・今年度より2歳児クラスが増設されたり、園外保育、イベントにも力を入れてくださって、 様々な経験ができたり、現代の親のニーズにも応えてくれる素敵な幼稚園だと思います。た だ、先生方への負担が大きくなっているのではないかと心配になる面があり、園児はもちろ ん先生方にとってもゆとりある保育で、モンテッソーリ教育をベースに、これからも笑顔あ ふれる幼稚園であると嬉しいです!

6. 情報公開

- ・クラスだよりは子供たちの写真が多数掲載され、心の成長も見て取れる内容で毎回楽しく読 んでいる。
- ・自己評価結果は教育目標や取り組みを再確認すると共に園児の安全のため、様々な対策・配慮や教職員間の連携がとられていることがよくわかった。後日のHP公開でも多くの理解を得ることができれば良いと思う。
- ・昨年度から始まったインスタへの投稿は、子どもたちの顔がSNSに掲載されることへの懸念の声もあるが、年度の始めに掲載の可否を確認され、編集してインスタに投稿されている。遠方に住む祖父母もインスタで孫の様子を頻繁に見ることができるのでとても喜んでいる。
- ・園だよりと並行してお弁当DAY、おにぎりDAYは前日にアプリでお知らせがくるので、 とてもありがたかった。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。